

## 書道実技 試験要領（試験時間 80 分）

1. 資料は 10 種あります。以下の①②について、① 1 点、② 2 点の計 3 点を提出のこと。指定用紙（厚手 10 枚、薄手 3 枚）を適当に使って、時間内に書き上げてください。

①（1）「志」は、必修です。資料 1～9 の中から 1 字を選んで、それを参考にし、「半紙一字書き作品」として仕上げてください。

②（2）～（10）の中から 2 種を選んで、半紙に仕上げてください。

2. 各資料は古典を拡大してあります。文字の配置、大きさなどの構成は、自由に行ってください。なお、（10）については、課題文を調和体の作品として、半紙に自由に構成してください。

3. 提出作品には、「受験番号」と「資料番号」だけをアラビア数字で書き入れ（鉛筆かボールペンを使用）、姓名などは書かないこと。

（1）「志」に関しては、資料 1～9 のうちの選択した資料番号を例にしたがって記入してください。

〔例〕資料 7 を選択した場合＝（1）－7

4. 提出作品は、（1）を最上部に、以下は順不同で 3 枚重ね、係員に手渡してください。

（全員の提出が終わるまで退出できません。）

(1) 「志」必修 一字を選んで「半紙一字書き作品」として仕上げてください。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

(2) 「地列州県」

(3) 「況乎仏道」

(4) 「人書俱老」

(5) 「参天兩地」

(6) 「よのなかはむかしよりやはうかりけむ／わかみひとつのためになれるか」

(7) 「披之閱之」

(8) 「涼州」

(9) 「弥勒」

(10) 「新しい世界へ踏み出そう」

新しい世界へ踏み出そう

行数・構成は自由  
漢字をひらがなに変えてもよい